

教区代表者会議の分科会テーマの作成のために

教区民の皆さま、昨年の「2020 広島教区代表者会議」に向けてのアンケートにご協力くださり誠にありがとうございました。

まず皆さまからご提示頂いたアンケートの内容をもとに、代表者会議の中でおこなう分科会のテーマを導き出すため浮き彫りにされた「10のキーワード」とポイントを以下に示します。

…… 《 アンケート結果から抽出された10のキーワード 》 ……

1. 小教区体制、協働体制（＝少子高齢化）

- ◆協働体制の推進
- ◆小教区（協働体制含む）の、あるいは地区の推進力を高めていく必要性
- ◆小教区体制（行事含む）の簡素化と見直し
- ◆教会行事が多いことの懸念と解決のためには
- ◆青少年の方が教会に集ってもらうためには
- ◆青少年の方に役を担ってもらいたいが
- ◆少子高齢化の今、私たちが取り組むべきことは
- ◆小教区の統廃合への危惧
- ◆このまま、何もしなくてもいいのだろうか？

2. 多国籍化（多文化共生）

- ◆在住外国籍の方との交わり
- ◆在住外国籍の方の教会体制・委員会への参画、役割
- ◆在住外国籍の方へ、教会維持費の必要性の認識に向けて
- ◆在住外国籍の方のリーダー養成
- ◆在住外国籍の方の支援体制づくり（日本語教室、生活相談窓口）
- ◆日本人信徒の在住外国籍の方への理解（英語ほか外国語教室）
- ◆小教区によっては、在住外国籍の方がいないところも。。。

3. 教区・地区・教会の目標（テーマ）

- ◆教区の目標（方針テーマ）の推進と継続性（地区レベルのフォローアップ）
- ◆「平和」「きょうどう」「養成」のようなキーワード化のプラス面とマイナス面
- ◆目標（テーマ）を「具体案（具体的行動）」を示すことのプラス面とマイナス面
- ◆教区はもちろん、地区、協働体、小教区で独自の振り返りや、評価が必要

4. さまざまな『差』

- ◆小教区のレベル差についての課題 ←「レベル差」という表現がやや気になります
- ◆協働体制、地区のレベル差についての課題
- ◆小教区内、協働体内、地区内での宣教司牧活動の個人的な差
- ◆「差」があるのは当然のこと。それを乗り越えて「きょうどう」しよう。

5. 伝える（情報の伝達と共有）

- ◆小教区内の信徒への情報伝達と情報共有（協働体制内、地区内も含む）
- ◆「伝える」こと大切さ
- ◆高齢の方に伝えることの壁、言葉（言語）の壁を乗り越えて

6. 司祭の高齢化と減少

- ◆司祭の高齢化と減少
- ◆召命促進のために私たちができること

7. 交わり

- ◆私たちは喜びをもって未信者の方、教会から離れている方を招いてうるだろうか？
- ◆受洗後の教会離れ
- ◆聖職者・修道者、カテキスタの方との信徒の交わり
- ◆司祭同士、修道者同士、信徒同士、あらゆる立場での互いのコミュニケーション
- ◆「あの人は、今、何をしているだろう？」「長い間、会っていないな～？」「なぜ、来なくなった（来られなくなった）のだろうか？」
- ◆教会を離れた方の声を聞こう（声が聞きたい）
教会を離れている人からアンケートの回答が得られないだろうか？
（アンケートは、教会に来ている人の回答が中心）
- ◆教会を離れた方への呼びかけと交わり
- ◆距離的弊害、移動の不便さがある中山間地域に住む信徒との交わり
- ◆人と人との「交わりの場」を大切に
- ◆青少年（子どもも含む）の方との交わり

8. 養成（信仰継承）

- ◆信仰養成の不足と生涯養成の大切さ
- ◆養成（司祭の生涯養成、信徒の生涯養成、子を持つ親の養成、入信前後のケア）
- ◆カテキスタの養成、教会学校の大切さとリーダーの養成

9. 福音宣教（ともに喜びをもって福音を伝える教会へ）

- ◆教皇フランシスコのメッセージ「すべてのいのちを守るために」
- ◆戦争や核兵器の廃絶のために、私たちにできること、私たちは何をすべきか？
- ◆SNS等の活用が、新しい福音宣教のためのひとつの手段に

10. 祈り、ミサ

- ◆「祈り」と「活動」の調和を目指して
- ◆すべての信者が、教会に集い、ミサに与ることで「安らぎ」を感じてもらえるように
- ◆ミサの減少と集会祭儀の広がり（取り組み）
- ◆教会の一員として、「役」を担い関わって頂くより、教会に集ことで「喜び」を感じて頂けることを優先に
- ◆国際ミサの推進（母国語のミサの実施と割合）

続いて、分科会テーマを導き出すために必要な考え方を以下に示します。

…… 《 分科会テーマを導き出すために必要な考え方 》 ……

- (1) 教区代表者会議の開催までの期間、まず、分科会テーマを決めることから。
なぜなら、今後、分科会テーマを中心にした小教区での分かち合い、議論を行ってもらうことが、皆様のご意見を教区代表者会議に反映するよい準備となるからです。
- (2) そのために、話し合いの対象となる分科会テーマは、具体的で分かりやすいものである必要があります。
- (3) 分科会テーマは、誤解のない平易な文言、表現であることが重要となります。
- (4) 分科会テーマは、大きく分けて次の2つから取り上げていきます。
 - ①アンケートの集計、分析結果から抽出された課題に関する分科会テーマ
 - ②過去に示した教区全体の課題、これから教区全体として取り上げていく課題に関する分科会テーマ
- (5) 分科会テーマは、その背景にある諸問題を分析し明確にすることにもつながります。

- (6) 分科会テーマを導き出すため、以下の①②③のポイントに重点を置いて検討してみます。

①総合テーマ「ともに喜びをもって福音を伝える教会へ」との関連性から

広島教区では、創立 100 周年に向けて「チャレンジ 新しい福音宣教～わたしをお使いください」というテーマで教区の宣教司牧活動をおこなってきました。その流れを受け継ぎ、さらに「喜びをもって」新しい福音宣教へのチャレンジを推し進めていくために、今回の教区代表者会議を開催します。

広島教区では、前回の教区代表者会議（2010 年）後に作成された「2012 年の新ガイドライン『平和の使徒となあ～れ！』」では、重要な実践テーマとして「平和」・「きょうどう」・「養成」・「多文化共生」という 4 つが導き出されていましたが、これまで、「平和」・「きょうどう」・「養成」という 3 本柱として提示されてきました。しかしこれらの 3 本の柱が教会の根本的な 3 重の使命（預言職、祭司職、王職）と混同された節があります。

この混同を避けるために、まず、新しい福音宣教のためにも、教会の根本的な 3 重の使命（預言職、祭司職、王職）が基本にあることを、再確認したいと思います。

そして、この教会の根本的な 3 重の使命を遂行していく上で、広島教区としては、今後、「平和」・「きょうどう」・「養成」・「多文化共生」の 4 つの実践を引き継いでいくべきであるという声が、アンケートの中に示されていたように思います。このようなことを考慮して、分科会テーマは、それぞれの“実践”との関連が深いのか明確にすることで理解が深まるものと思われま

② 4 つの“実践”との関連性から

【平和の実践】（例）

- ・教皇フランシスコの来日テーマ「すべてのいのちを守るため」の具現化
- ・戦争、核、貧困、差別、暴力、環境、経済格差への対応

【きょうどうの実践】(例)

- ・教区の運営、地区の運営、協働体、小教区の運営のあり方
- ・司祭、修道者、信徒が互いに信頼し、協働していくことについて
- ・協働して信仰、教会活動を高めていくための信徒の果たすべき役割
- ・互いに情報伝達・共有（伝えること）の大切さと難しさについて

【養成の実践】(例)

- ・信仰養成、宣教のための活動のあり方
- ・教会学校や青少年育成のための活動への取り組み

【多文化共生の実践】(例)

- ・滞日外国人の抱える課題とそれに対応できる教会のあり方
- ・実質的に教会の一員となるためのあるべき姿

③新たな視点から（その他4つの“実践”に分類できないものがあれば新規に提示する）

- ・教会の新しい生活、活動様式

(7) 前述のことを重点に、分科会テーマの字句を推敲して分かりやすく平易な表現にします。

(8) 分科会テーマは、そのテーマが設定された理由、現状認識、具体的な内容説明、話し合っ
て欲しい項目例（例えば、誰が、何のために、どのようにして）などを文書化していきま
す。これにより分科会テーマの内容についての誤解や理解不足を避けることができ、論点
を明確にすることで各小教区での話し合いの際の助けとなることを期待します。

(9) 教区優先課題と分科会テーマとの関係性を意識することも大切です。

(10) 私たちが暮らす日本の置かれている環境についての現状認識の共有することも大切です。
例えば、少子高齢化、富の局在、滞日外国人の増加、教育の劣化、周辺国との摩擦など。

以上のことから、分科会テーマの提示までのスケジュールを以下で予定しています。

…… 《 分科会テーマの提示に向けて 》 ……

- (1) 今年10月開催予定の各地区宣教司牧評議会、分科会テーマ（素案）を提示
その後、各地区から各小教区の意見の吸上げて頂き、代表者会議実行委員会へ提示
- (2) 今年12月開催予定の教区宣教司牧評議会、分科会テーマ（案）を提示
- (3) 来年1月開催予定の各地区宣教司牧評議会、分科会テーマ（案）に対する意見の吸上げ
- (4) 来年1月末をメドに代表者会議実行委員会事務局で分科会テーマを終決
- (5) 来年3月の平和の使徒推進本部会議で決定した分科会テーマを展開
- (6) 代議員の決定は2021年6月開催予定の教区宣教司牧評議会とし、2021年5月頃、決定し
た分科会テーマ、代議員の選出のお願いに関するレターを作成し、配布。